

\*このスクーリングは、EB91とEB83の合同開講です。EB83の開講は、2026年度限りです。

専門教育科目 講義科目

科目名：	<b>経営戦略 実践論</b>		科目コード	EB91	
科目主査：	<b>内藤 英俊</b>	担当講師：	<b>内藤 英俊</b>	単位	4
				配当年次	3・4
授業の目的と概要		グループワーク：	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	個人ワーク：	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
本科目では、戦略概念の「実践」に焦点を当て学習を行います。戦略概念では、特に今日の不確実で動的な経営環境に有効な理論・知識・思考法を取り上げます。なお、戦略概念の実践スキル習得には、事例検討やケース学習が効果的です。そのため、グループでの演習に重きを置き学習を進めます。総合演習では、架空企業の経営戦略立案に取り組み、戦略ロードマップを作成します。					
履修の前提となる科目	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	科目名：			
履修の前提となる知識 その他特記事項	特にはありませんが、本科目では実践的な演習が中心となります。したがって、授業中にテキストの詳細について触れることが難しいため、各自でテキストを一度読んで上で授業に臨んで下さい。				
テキスト	『この一冊ですべてがわかる 新版 経営戦略の基本』経営戦略研究会, 手塚 貞治, 日本実業出版社, 2024年				
この科目の 到達目標	①企業の活動を戦略の観点から理解でき、戦略概念を利用してその活動ポイントを説明できる。 ②企業の活動実態から、当該企業がどのような論理に基づいて戦略を構築・実行しているかが判断できる。				
成績評価 の方法	初日の課題と最終試験の双方を評価します。 ※スクーリング全日の出席、課題、最終試験の提出（未入力提出不可）をもって、採点対象とする。				
事後学習	自分の仕事環境において、どのような戦略展開が行われているのかを理解し、その優劣を判断し、改善に向かって多少なりとも行動につなげてみましょう。				
事後学習の 参考文献	『経営戦略の論理 第4版』伊丹 敬之, 日本経済新聞出版社, 2012年 『ザ・会社改造』三枝 匡, 日経ビジネス人文庫, 2019年				
スクーリング受講時に用意するもの <input checked="" type="checkbox"/> テキスト <input checked="" type="checkbox"/> 筆記用具 <input checked="" type="checkbox"/> カメラ・マイクは必須となります。					